

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

368号

2021年10月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

第20代大統領選挙に向けて奔走する大統領選挙候補者たち

2022年3月9日に行われる大韓民国第20代大統領選挙に向けて、大統領選候補たちが奔走している。

●与党「共に民主党」は李在明京畿道知事が最有力

与党「共に民主党(民主党)」の予備選挙は、9月25日・26日の全羅道の予備選挙の結果、李在明(イ・ジェミョン)京畿道知事が得票率49・7%を獲得し、李洛淵(イ・ナギョ)元全羅南道知事(43・98%)を抑えて首位となった。全羅道は民主党の聖地で全羅道の民意が民主党の予備選挙を左右すると言われており、過去の大統領選挙でも全羅道が選択した候補が民主党候補になっている。



李在明候補

李洛淵候補

尹錫悦候補

洪準杓候補

金在妍候補

民主党

の予備選挙で李在明氏が他を圧倒している背景には、地域主義の原理が作用している。地域主義の原理とは「全羅道が支持する慶尚道の候補」モデルだ。慶尚道より人口が圧倒的に少ない全羅道の有権者による大統領選挙で勝利するための戦略的選択だ。2002年の盧武鉉候補(慶尚南道・釜山)、2017年の文在寅候補(慶尚北道・大邱)がそうだった。李在明知事は慶尚北道・安東の出身だ。李在明氏が民主党の候補に選出される可能性が高い。

●第1野党「国民の力」は、尹錫悦氏か洪準杓氏

朴槿恵前大統領の流れをくむ第1野党「国民の力」の大統領選候補は、11月5日に発表される予備選挙の最終勝者が誰になるかはまだ分からないが、これまでの世論調査結果では元検察総長の尹錫悦(ユン・ソギョ)を洪準杓(ホン・ジュンピョ)元自由韓国党党首が追い上げており、この二人のいずれかに決まるだろう。

正義党は、10月1日から5日までのオンライン投票で候補を確定する。過半数を得た候補がいなければ直ちに決選投票を行う。沈相奵(シム・カンジョン)元代表ら4名が立候補している。

進歩党は8月5日に単独候補として出馬宣言をした金在妍(キム・ジェヨン)党代表が9月3日に実施された党員投票の結果、92・56%の支持を得て大統領候補に確定した。

韓国社会世論研究所が9月24日から25日に実施した世論調査では李在明氏が30%、尹錫悦氏が27・1%、洪準杓氏が16・6%、李洛淵氏が12・5%の支持を獲得した。

●進歩陣営は進歩政党の躍進に向けた連帯機構を発足

民主労総と

正義党・進歩党・緑色党などの進歩政党は、9月7日に大統領選挙に対する戦略を論議し実践する共同対応機構を発足させた。記者会見前に開かれた会議では、同機構の公式名を「不平等体制打破のための民主労総・進歩政党2022大統領選挙共同対応機構」とした。拘束されているヤン・ギョンス民主労総委員長の代理として参席したユン・テッキョン首席副委員長は「民主労総は来年3月の大統領選挙で進歩政党がさらに大きな希望を生み出し、さらに大きな政党になるよう、全力を傾け共に進む」と強調した。

11月上旬には各党の候補者が確定し、本格的な選挙戦に突入することになる。今回の大統領選挙にも在日同胞は投票できる。各候補者の政治経歴と選挙公約を吟味して祖国の未来を託すに値する候補者に投票しよう。(金五)

3・1独立運動の評価と意義について

認識を共有する

9・26韓統連セミナー

韓統連大阪本部主催の「韓統連セミナー2021シリーズ ウリ近代史最終回—圧制に抗拒する民衆—3・1独立運動を中心に」が9月26日(日)、東成区民センターで開かれた。

セミナーでは、金隆司(キム・ユンサ)韓統連大阪本部代表委員が「現在、韓日関係は冷えきっています。その要因は日本政府の誤った歴史認識によるものです。今日のセミナーを在日同胞と日本人が共に正しい歴史認識を共有する場にしましょう」と主催者挨拶を行った。

次に、金昌範(キム・チャンボム)大阪本部副代表委員が報告を行った。金副代表はまず、甲午農民戦争の主導者である全瑋準(チョン・ボンジュン)総大将の処刑(1895/4)以降の日本帝国主義による圧制と当時の独立運動の現状について詳細に報告した。



▲3・1独立運動について報告する金昌範副代表委員

続いて、3・1独立運動(1919/3.1)について「ソウルで独立宣言書が朗読され、多くの民衆が“独立万歳”を叫び、全国に運動が拡散した。参加した階層は学生・宗教者・知識人・商人など幅広い階層が参加した」と述べながら、最後に「闘いの原動力はまぎれもなく民衆(民衆が歴史の主役)であり、民族解放運動の質を高める契機を作った」などと3・1独立運動を評価した。

報告後は活発な質疑討論と崔誠一(チェ・ソウル)大阪本部事務局長から11月7日に開催する「韓国大統領選挙を考える集い」が紹介され、最後に金昌五(キム・チャンオ)大阪本部副代表委員が閉会挨拶を行い、セミナーは終了した。

民衆レベルの運動を活性化させ

日朝国交正常化を実現しよう!

日朝ピョンヤン宣言19年大阪集会

日朝ピョンヤン宣言発表から19年を迎え、日朝市民連帯・大阪の主催で「ピョンヤン宣言から19年 日朝国交正常化の早期実現を求める大阪集会」が9月17日(金)、エルおおさかで開かれた。

集会では、日朝市民連帯・大阪共同代表の大野進さんが主催者挨拶を通じ「日朝ピョンヤン宣言が合意されて19年が経過するが、日本政府の朝鮮敵視政策は継続されている。私たちの運動を確実に広げ、国交正常化を実現させよう」と語った。

次に「日本の政治社会状況と朝日関係の展望」をテーマに、崔権一(チェ・クォニル)朝鮮総連大阪府本部宣伝文化部長が講演を行った。崔部長は初めに、最近の朝鮮のミサイル発射実験について「何かを狙ってやっているのではなく、年初からの計画に沿ったものだ」と語った。



▲講演を行う崔権一宣伝文化部長

続いて、今年3月に開かれた日米2+2会談の内容を解説しながら「日米同盟の再編強化と戦後レジームからの脱却を加速化させるもの」と指摘するとともに、「日本政府は新型コロナウイルス感染症状況を政治利用し、反動法を量産している」と語った。また「このような日本政府の危険な動きに対して朝鮮は、各種論評などを通じ歴史・軍事問題を中心に告発・警告してきた」と述べながら、「日本社会全体にみられる朝鮮に対する不信感を取り除き、民衆レベルの運動を活性化させ、国交正常化につなげよう」と訴えた。

講演後は菅首相に送る要請文の採択が行われ、最後に共同代表の長崎由美子さんが閉会挨拶を行い、集会は終了した。

【投稿】

朝鮮人元BC級戦犯問題のこれから

姜秀一(カン・スイル)

私は2021年3月28日に他界しました朝鮮人元BC級戦犯李鶴来(イ・ハクネ)氏の甥にあたります姜秀一と申します。私の父親の実姉が李鶴来氏の妻という関係です。

伯父(李鶴来氏)が他界して半年が経ちましたが、あらためて存在の大きさ、偉大さを日々感じております。

伯父がどのような人生を歩んできたか、お話しさせていただきます。

伯父李鶴来氏は、1925年日本の植民地下の朝鮮半島全羅南道宝城で生まれ、1942年、17歳のときに日本軍の軍属としてタイとビルマを結ぶ泰緬鉄道の建設工事に従事させられた連合国軍捕虜(主にオーストラリア兵)の捕虜監視員になりました。泰緬鉄道は「死の鉄道(Death Railway)」と呼ばれ、過酷な労働や劣悪な衛生状況による伝染病の蔓延等で多くの捕虜が命を失いました。

この憎しみは捕虜と直接対峙した監視員に向けられ、終戦後、伯父はオーストラリアの軍事裁判でBC級戦犯として裁かれ、捕虜虐待の罪により死刑判決を受けることになるのです。その後、懲役20年に減刑されましたが、身柄を東京のスガモプリズンに移送され、1956年に出所したときには31歳になっていました。

朝鮮半島出身者の戦犯者のうち23人が死刑執行されたのですが、伯父は「刑死した仲間の無念を晴らす」という思いを生涯持ち続け、胸ポケットには常に刑死者名簿を入れていたそうです。

1951年サンフランシスコ講和条約の締結により、朝鮮半島出身者の日本国籍が喪失することになり、釈放が期待されたのですが、罪を犯した時点では「日本人」であったという理屈で免罪されませんでした。一方で軍人軍属に支給される恩

給については、日本国籍がなければ支給対象外とするあまりにもひどい仕打ちを受けたのです。

スガモプリズンを出所してからも、仕事を得ることが困難を極め、戦犯仲間の中には生活苦から自殺をする人も出ました。

そこで考え抜いた結果、刑務所の中で自動車の運転免許証等の資格を取得していたことから、タクシー会社を設立したのです。設立の準備資金に

ついては、日本人の医師からの支援がありました。

このように大変な思いをして日本での生活の基盤を築いた朝鮮人元BC級戦犯者は、伯父を含む7人が代表として原告となり、1991年、国を相手に謝罪と補償を求める訴訟を東京地裁に提訴しました。裁判は1999年まで続きましたが、最高裁で棄却という結果となりました。

裁判の敗訴を受けた後は、国会での立法化に向けての運動に舵を切っています。伯父は何度も国会に足を運び、あらゆる取り組みを支援者の方々と行なってきましたが、国会で審議されぬまま年月は容赦なく経過し、伯父の存命中に立法化はかないませんでした。

伯父の他界により、存命する朝鮮人元BC級戦犯者の当事者はいなくなりましたが、伯父の遺志を継いで、立法化への闘いは続いています。これからは東京の支援者の方々との連携をより一層密にし、大阪での支援の輪を少しでも広げることができればと思います。

皆さま、どうぞよろしくお願ひいたします。



▲故李鶴来氏

日米軍事一体化の下での大軍拡を許さない！ 憲法9条を変えさせない！

関西共同行動 星川洋史

今、日本の自公（維）政権は、マスコミも動員しながら日米同盟を軸にオーストラリア、インドを含めて太平洋、インド洋、アフリカ大陸にいたるインド・太平洋戦略を打ち上りました。

そのためには中国、朝鮮の危険性、台湾の危機などを煽り立て、日本を戦争する国へと急速に舵を切ろうとしています。中国の海・空軍の周辺海域での軍事活動の活発化、朝鮮の弾道ミサイルの日本海への発射や台湾危機を取り上げ、日本の安全のためと称して日米間だけでなく、オーストラリア、インドなどへも軍事同盟を拡大しようとしています。

これまで憲法の制約で「認められない」としてきた同盟国（軍）へ自衛隊による軍事協力・支援行動が可能であり、必要であるとして実行もしています。憲法9条がありながら、同盟軍に軍事的支援をするだけでなく、同盟軍を守るためと称して外国（軍）の基地（敵基地）への先制攻撃さえ可能にするというのです。憲法を無きも同然にしています。

政府は激動するアジア、台頭する中国を理由に今、南西諸島の軍事化を急速に進めています。奄美大島と宮古島に加えて、石垣島と沖縄本島勝連にも地対艦ミサイル基地を建設しようとしています。沖縄県民が長く、強く反対している白保の基地は政治的だけでなく、地理的、自然的条件でも大きな困難を抱えている中でも、政府・防衛省は無理矢理め立てを強行し続けています。

●極めて危険な土地規制法

6月16日、自衛隊基地や原子力発電所の周囲、辺境離島などの土地の利用を規制する「土地規制法」が成立しました。この法で政府は、自衛隊や在日米軍の基地、原発など重要施設の周辺や、国境近くの離島で土地や建物の利用状況を調べ、施設の機能を阻害する行為に懲役を含む罰則付きで

中止を勧告・命令することができ、土地収用もできるようになります。

この法律で政府が不安を煽り立てた施設1km範囲内や離島で調査対象者の職業、思想信条、所属団体、交友関係の調査などをできるようにしようとしています。また、これらを政府、公安関係、警察などで決定していこうというのです。まさに戦前に戦争体制を作り出した「治安維持法」に匹敵する弾圧法規です。なかでも米軍専用基地の7割が集中し、全域が国境離島にあたる沖縄県は全県民が監視対象になりかねません。

●激動するアジア、民衆の連帯で

歴史の逆行をとめよう！

今、アジアは激動しています。ミャンマーでは国軍が莫大な経済的利益を守るためにクーデターを起こしました。しかし民衆は弾圧に屈せず、街頭で、地域で闘っています。9月7日には少数民族を含む国民統一政府（PDU）が、国民に国軍への抵抗を呼びかけました。日本政府は軍系の資本、企業と利害関係を持つ日本資本の圧力の下で軍政を批判せず、守る行動をとっています。私たちは日本政府にミャンマー軍部への支援・擁護を止めさせる闘いが求められています。闘うミャンマー人民を支援することが求められています。

日米の軍事同盟の強化、日米豪印のインド・太平洋戦略は抑圧・弾圧を強める方向に働いています。今、私たちはアジアと世界に緊張をもたらす日米をはじめとする軍事強化に反対する闘いが求められています。日米韓合同軍事演習を止めさせる韓日民衆の闘い、辺野古新基地建設、南西諸島の軍事化、Xバンドレーダー基地建設反対などの闘いの強化も必要です。

日米の軍事同盟の強化、日米豪印のインド・太平洋戦略は抑圧・弾圧を強める方向に働いています。今、私たちはアジアと世界に緊張をもたらす日米をはじめとする軍事強化に反対する闘いが求められています。日米韓合同軍事演習を止めさせる韓日民衆の闘い、辺野古新基地建設、南西諸島の軍事化、Xバンドレーダー基地建設反対などの闘いの強化も必要です。

10月23日の「とめよう！戦争への道 めざそう！アジアの平和2021 関西のつどい」の成功は、私たちの平和への願いを前に進めるための取り組みです。ぜひご参加を！デモも行います。



▲10月23日に開かれる2021関西のつどい

【コラム】

「愛の不時着」と私たちの未来

■「愛の不時着」リ・ジョンヒョクとユン・セリ

おそらく韓国ドラマとして、これほど多くの人に感動を与えた作品は少ないのではないのでしょうか。ドラマの中では統一という言葉がごく自然に、何度も登場するのも印象的です。このドラマは脚本の作成に2年の歳月をかけています。

ドラマに登場する北の生活の様子がリアルなのは、北出身のスタッフが制作にかかわったからだと言われています。ウリハッキョ（朝鮮学校）出身の人たちは、第1話に登場する「인민체조（人民体操）」のシーンに感動したはずです。あのキレの良さは圧巻でした。

北の暮らしの様子を見ていると、幼い頃過ごしたハモニカ長屋での生活を思い出します。人々が助け合うようすや、しょっちゅう停電があるシーンも懐かしく感じられました。

ストーリーは奇想天外です。財閥の令嬢ユン・セリ（ソン・イェジン）がパラグライダーに乗って北の軍事地帯に不時着します。そこで北の兵士リ・ジョンヒョク（ヒョンビン）と出会うこととなります。

リ・ジョンヒョクはユン・セリを南に帰すために様々な手段を試みますが、ことごとく失敗します。ユン・セリは南の生活とはまったく違う北での暮らしにとまどいながらも、そこで暮らす人々のたくましさや温かさに心を開いて行きます。

ドラマの中には印象的なシーンがたくさん登場します。もちろん韓国ドラマ独特のキラキラしたシーンと美しい音楽はもちろんのこと、毎回ユーモアコードが登場するので深刻なストーリーでも肩に力を入れずに見ることができます。

その中でも特に印象的なセリフは、リ・ジョンヒョクが頻繁に口にする「일 없습니다（イルプスムダ）」「일 없소（イルプソ）」です。

この表現は南では使われていません。以前は南でも使われていたとのことですが、現在は北で主に使われる表現になっています。今の韓国語の表現に置き換えると「괜찮습니다（ケンチャンスムダ）」になるのでしょうか。日本語に訳すと「構いません」

「大丈夫です」というような意味になります。

ただ、ヒョンビンが発するこの言葉の意味が深いのは、とても大丈夫とは言えない状況で、この言葉を使うことです。自分が命の危険にさらされるようなことになっても、リ・ジョンヒョクは平然と「大丈夫です」と答えるのです。

私は実は「愛の不時着」の真の意味は、ここにあるのではないかと思っています。どんなに困難な状況になっても、淡々と「大丈夫です」と答え、自分がやるべきことを黙々と遂行する。相手のために最善を尽くす。結果がどうなっても、やるべきことをやる。このリ・ジョンヒョクの精神が、このドラマを見た人々を感動させたのではないのでしょうか。



▲韓国ドラマ愛の不時着

■韓国語字幕で

韓国語の能力がレベルアップ

私はこのドラマをNetflixで見ました。Netflixの最大のメリットは韓国語字幕を見ることができるところです。何度見ても聞き取れないところも、

韓国語字幕だと一発でわかります。韓国語を勉強中の方は、ぜひこのドラマを字幕なしで観てください。わからない部分だけ韓国語字幕を見るのがおすすめです。韓国語独特の言い回しや例えなど韓国ドラマを見ていると、本当に勉強になります。

大統領選挙が近づいています。この選挙は何としても勝利しなければなりません。もし万一、保守に政権を奪われるようなことがあれば、あの朴槿恵時代の悪夢を再び味わうこととなります。安易な楽観主義は禁物です。

最善を尽くし、やるべきことはすべてやった後で結果を待つのです。迫りくる危機は安易な楽観主義で乗り切ることはできません。つねに敵の動向をうかがい、先手を打って全力を尽くしてこそ、その戦いの中で負傷したとしても「일 없습니다（大丈夫です）」と清々（すがすが）しく言えるのではないのでしょうか。今、私たちに必要な精神は、リ・ジョンヒョクのような、どんな状況にあっても「일 없습니다（大丈夫です）」と前進することなのです。（キム・ヘス）

【本の紹介】

人間の経済

著者:宇沢弘文/新潮新書:792円

今回紹介する本は、新潮新書の宇沢弘文著「人間の経済」です。

正直に言って、経済の専門家でもない普通の労働者である私が経済に関する著作をどのように紹介すればよいのか、皆目見当が付きませんでした。

なので、今から7年前に86歳で亡くなられた宇沢弘文という経済学者の生き様について私が感じたことを述べたいと思います。

宇沢弘文先生（敢えて先生と呼びます）は、第二次世界大戦中に青春時代を過ごされていますが、当時では当たり前であった、いわゆる「軍国少年」ではなかったようです。

もちろん声高に「戦争反対」などとは言えない時代状況ですから、そのような中で自分の生き様に悩みながらも、最終的には経済学に進まれました。

戦争の原因は政治ですが、その政治は経済によって左右されることを宇沢先生は肌間隔で見抜き、戦争を含む人間の過ちを繰り返さないために、人間にとって正しい経済を追求しようとしたのではないかと思います。

しかしながら、経済学を学ぶために渡米されたのですが、多くの経済学者は市場原理主義、つまり独占による効率の良い金儲けを研究していることに大変憂慮されました。

「ソ連など共産主義者を亡ぼすための水爆攻撃

は正当化される」と公言してはばからない経済学者もいたぐらいですから、相当辛い状況下で研究されたと思います。

しかし、そのような市場原理主義を導入した軍事政権下のチリは、後に経済的に破綻したのですが、その教訓は全く活かされないどころか、一国を社会的実験によって犠牲にしてまでもさらに効率よく金儲けの研究をしているのが米国なのです。

つまり、チリの例でわかるように、米国は各国に市場原理を軍事力で押しつけ、一国の社会発展を阻害していることの証左なのです。

宇沢先生は後年には市場原理主義が人類や地球を危機にさらすことを、いろいろな社会的実践の場で証明し警鐘を鳴らし続けました。

ただ残念なのは、宇沢先生の「社会的共通資本」という考えはむしろ疎んじられ、市場原理主義が幅を利かせているのが今の世界です。

私の祖国は現在南北が異なる社会体制ですが、将来連邦制統一は宇沢先生の唱える社会的共通資本を最大限引き出すことができる健全で平和な祖国となり得るでしょう。

また、そのような祖国の姿を一日も早く達成するためにも日頃から経済について考えることを痛切に感じた一冊でした。（高弘）



◆◆行事案内◆◆

<p>とめよう！戦争への道 めざそう！アジアの平和 2021関西のつどい</p> <p>日時：10月23日（土）午後1時30分 開場 午後2時 開会</p> <p>場所：エルシアター （京阪・地下鉄天満橋駅下車徒歩7分）</p> <p>内容：柳澤協二さん（国際地政学研究所理事長） の講演／高良鉄美さんの国会からの報告 他</p> <p>資料代：500円（中高生・介助者は無料）</p> <p>主催：同実行委員会 TEL06-6364-0123</p>	<p>韓国大統領選挙を考える集い</p> <p>日時：11月7日（日）午後1時30分 受付 午後2時 開会</p> <p>場所：KCC会館5階ホール （地下鉄今里駅2番出口から徒歩7分）</p> <p>内容：講演：韓国大統領選挙と朝鮮半島情勢 講師：金昌五 韓統連大阪本部副代表委員 解説：候補者たちの素顔と選挙公約 案内：選挙人登録と投票の方法</p> <p>参加費：800円（青年学生500円）</p> <p>主催：韓統連大阪本部 TEL:090-3822-5723（崔）</p>
--	--